

個人投資家様会社説明会用資料

2018年12月5日

於：日経茅場町カンファレンスルーム

 **OATアグリオ株式会社**

証券コード：4979

◆OATアグリオグループ



事業内容	農薬、肥料・バイオスティミュラントの研究開発、製造及び販売
本社所在地	東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBFビルディング8F
設立年月日	2010年9月28日
資本金	4億6,190万円
決算期	12月
代表者	代表取締役社長 森 明平
従業員数	439名

※連結2018年10月末現在。臨時雇用者数82名を含む。

(女性従業員)	105名 (24%)
(外国人数)	149名 (34%)
(研究開発人員)	115名 (26%) (国内59名、海外56名)
研究開発費比率	売上高の約10%

◆SDGs に対する実践

食糧増産が必須

エネルギーの
大量消費

自然破壊

農薬使用による
薬剤耐性の発生

地球温暖化
局所的な気候変動

砂漠化・塩害・水質汚染
世界の土壌の3割が劣化

新規開発を行っている
農薬メーカーは約千社
の中で日欧米の20数社

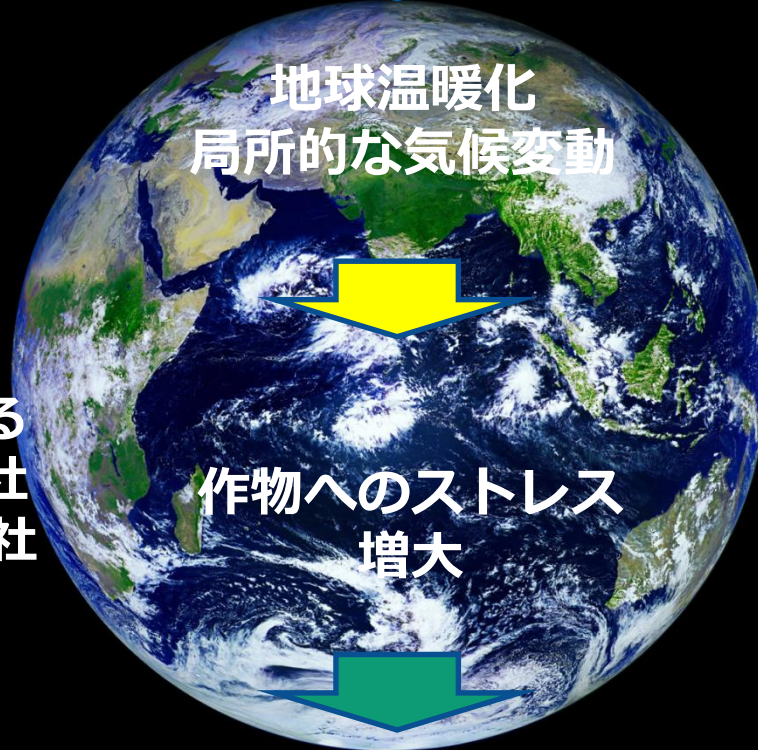
作物へのストレス
増大

国連が2015年を
国際土壌年とする

新規薬剤開発
防除技術

免疫力の向上
バイオスティムラント

必要最小限の水と肥料
施肥灌水技術



◆企業理念と3つのアグリテクノロジー




ESG（環境、社会、ガバナンス）経営、SDG s（持続可能な開発目標）への積極的な取り組み



『企業理念』

食糧増産技術(アグリテクノロジー)と真心で
世界の人々に貢献します。

◆当社グループ

OAT&IIL India Laboratories ★

- 旭化学工業(株)
- (株)養液土耕栽培研究所
- OATアグリフロンティア(株) ★
- エイチニュー(株) ★ (株)インプランタイノベーションズ
- 潤禾(ジユカ) (舟山) 植物科技有限公司 ★
- PT.OAT MITOKU AGRIO ★
- Asahi Chemical Europe ★

+ CHRYSAL

クリザール関連会社20社

関係会社
国内:5社
海外:7社

スペイン LIDA社 ★
CAPA社

OAT Pakistan

◆沿革

- 2010年 ◆大塚化学(株)のアグリテクノ事業部がMBOにより、大塚アグリテクノ(株)設立
- 2011年 ◆「アトニック」を主力製品とする旭化学工業(株)を買収
- 東日本大震災発生 ◆バイエル社から水稻除草剤原体2剤買収
- 2013年 ◆殺菌剤「ガッテン乳剤」発売
◆インドに現地農薬会社IIL社と合併研究所を設立★
◆パキスタンに販売会社を設立
- 2014年 ◆OATアグリオ(株)に社名変更
◆東京証券取引所市場第二部上場
◆短期暴露評価制度による影響
◆OATステビア(株)を設立
- 2015年 ◆旭化学ヨーロッパ★
◆東京証券取引所市場第一部上場
- 2016年 ◆インドネシアにて合併会社設立★
◆中国にて肥料合併会社設立★
◆BASFからシクロスルフアムロン6製剤を買収
◆MBOファンドからのEXIT
◆OATアグリフロンティア(株)設立★
◆日本ジェネリック農薬協議会発足
- 2017年 ◆OATアグリオ公募価格2,100円超え
◆ISO9001取得
◆短期暴露から3年目にして国内業績回復 (売上・利益過去最高 増配6円)
- 2018年 ◆1月 日本バイオスティミュラント協議会設立★
◆5月 エイチニュー株式会社設立★
◆6月 スペイン LIDA社 CAPA社買収★
◆8月 むさしのタネに出資
◆11月 インプランタイノベーションズ
◆11月 クリザール社の株式取得契約 (SPA) の発表★

◆ 研究開発体制（海外：54名）

- OAT & IIL India Laboratories Private Limitedが2014年10月より稼働
- 国内研究開発部門と連携し、早期の新規農薬原体開発をめざします。



◆研究開発体制（国内：48名）

栽培研究センター



研究開発部



◆ バイオスティミュラントとは

直訳すれば生物的刺激、つまり植物の免疫機構に働きかけ、免疫力を高めることで、耐寒性、耐暑性、病害虫耐性及び成長促進を促す「生理活性物質」の総称

ATONIKに関しては、農薬取締法に属するが殺虫及び殺菌効果はない



生物多様性を尊重する

- 植物の生物ストレス（病原菌感染）
- 環境ストレス（乾燥・塩害等）
- 全身獲得抵抗性
「SAR (systemic acquired resistance) 」

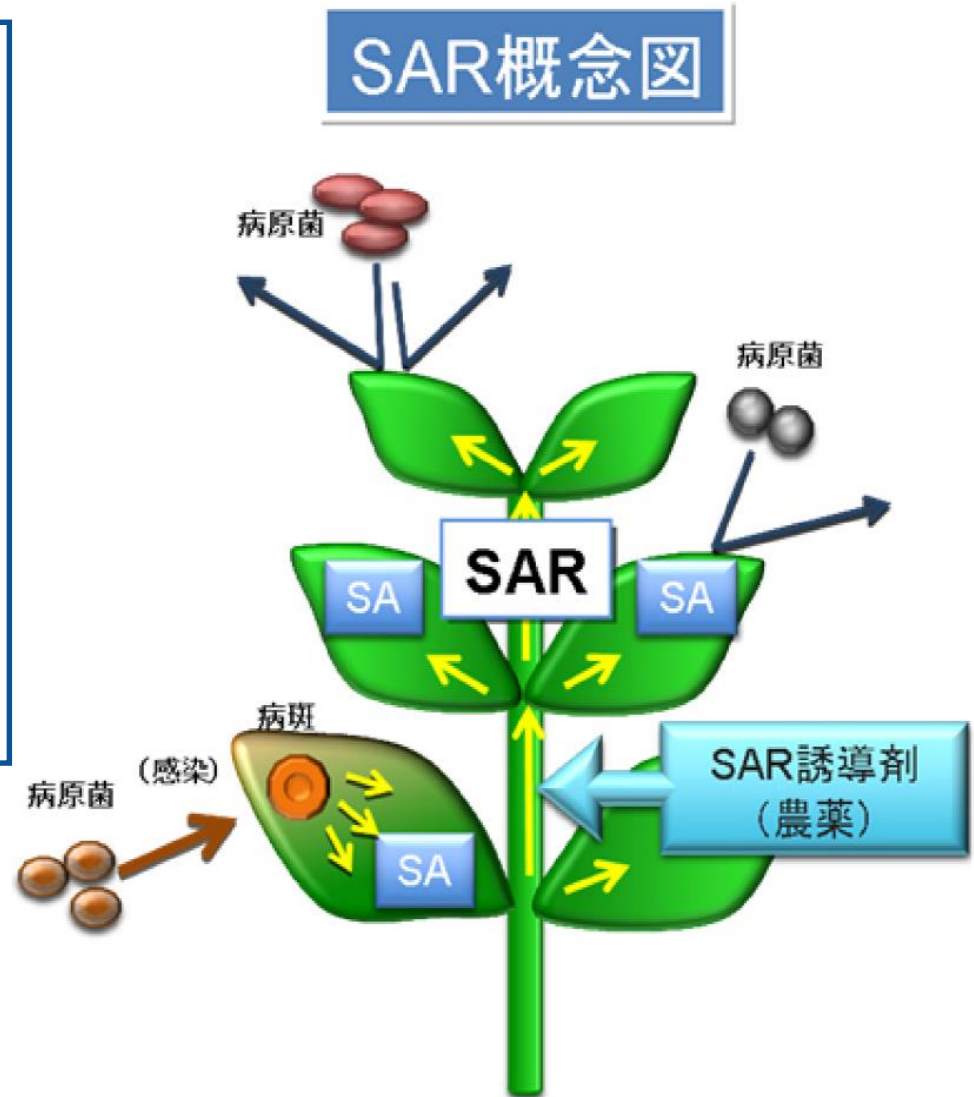
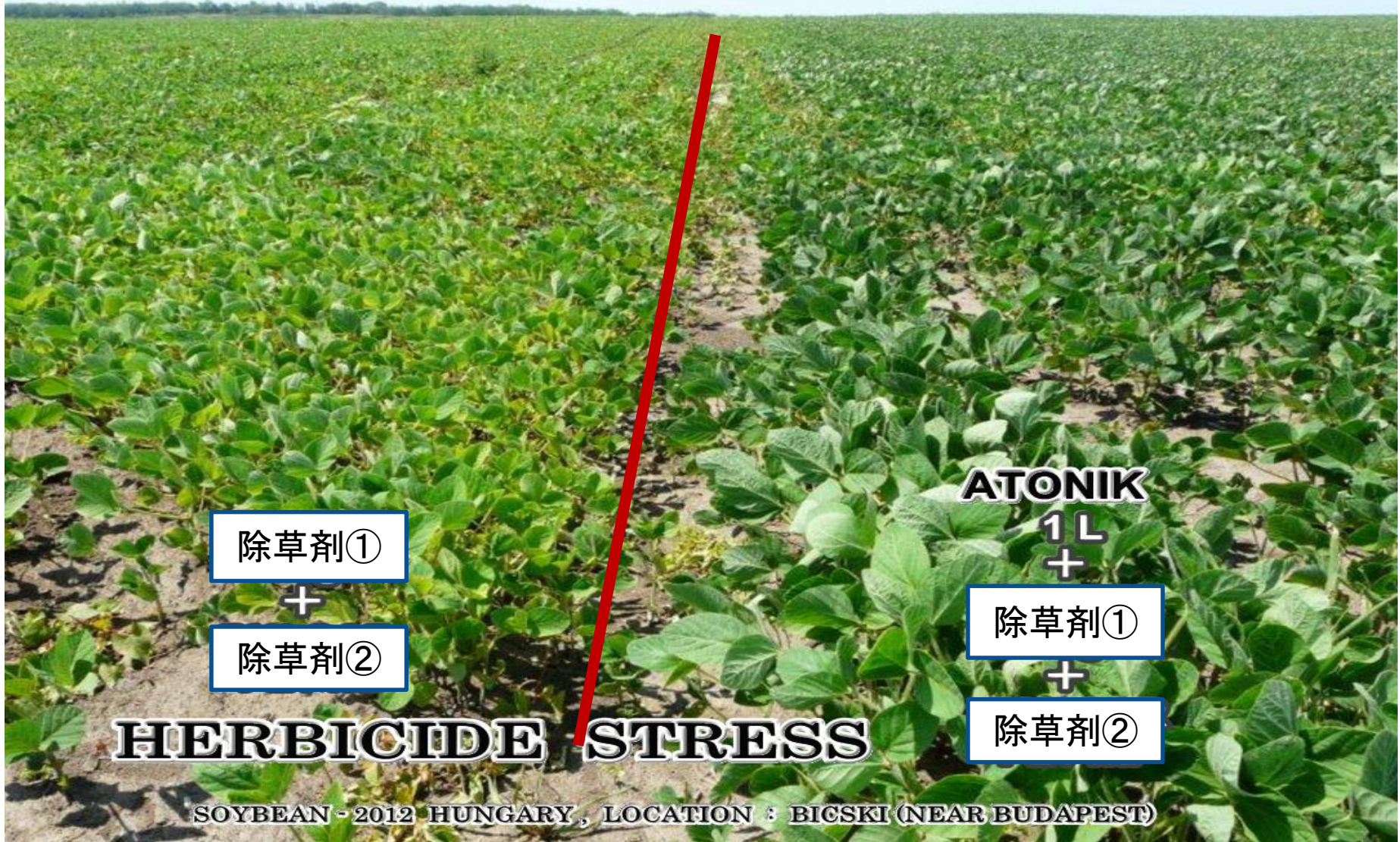


図1 全身獲得抵抗性（SAR）の概念図

◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布によるダイズの発育比較 (除草剤による影響の軽減) (ハンガリー)



◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布により雹 (ひょう) 害を受けたダイズが回復 (スロバキア)

雹 (ひょう) 害を受けた直後のダイズ



ATONIK散布後のダイズ

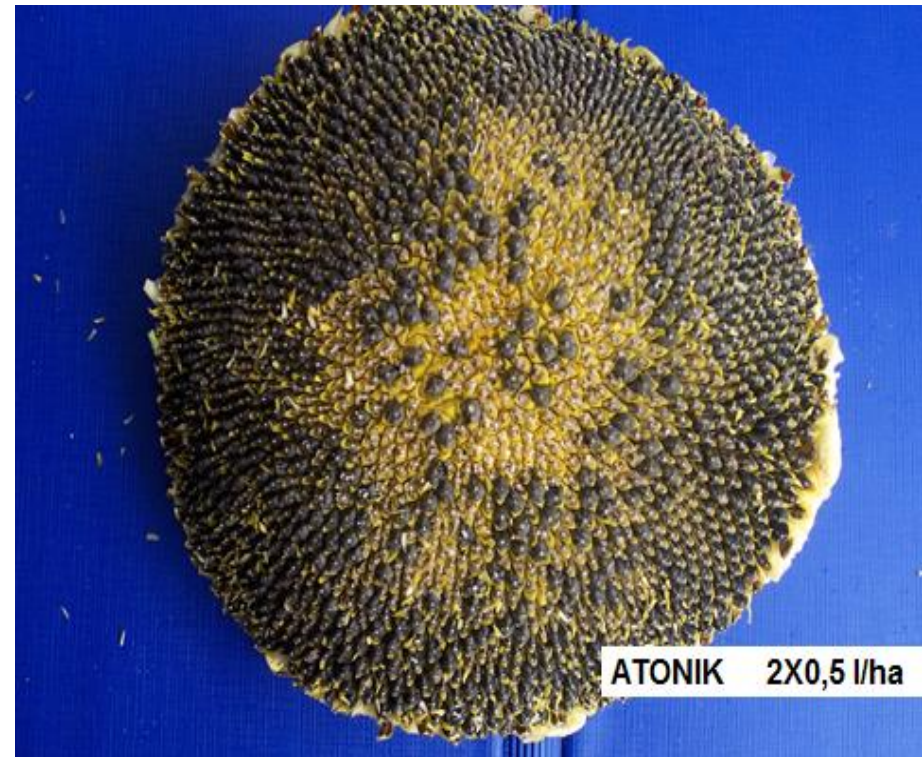


◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布によるヒマワリの種の生育状況

ATONIK未使用
日照不足によってヒマワリの種の育成
不良が発生

ATONIK使用
ATONIKを散布することにより日照不足
でもヒマワリの種の生育が良好



◆ バイオスティミュラント (ATONIK)

ATONIK散布による玉ネギの生育比較 (インドネシア)



CONTROL

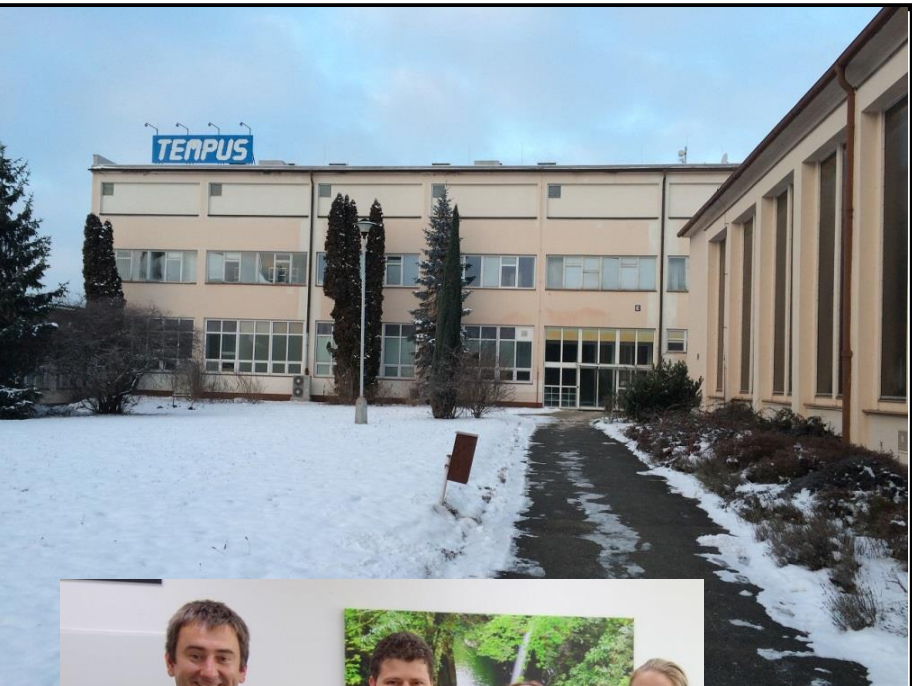
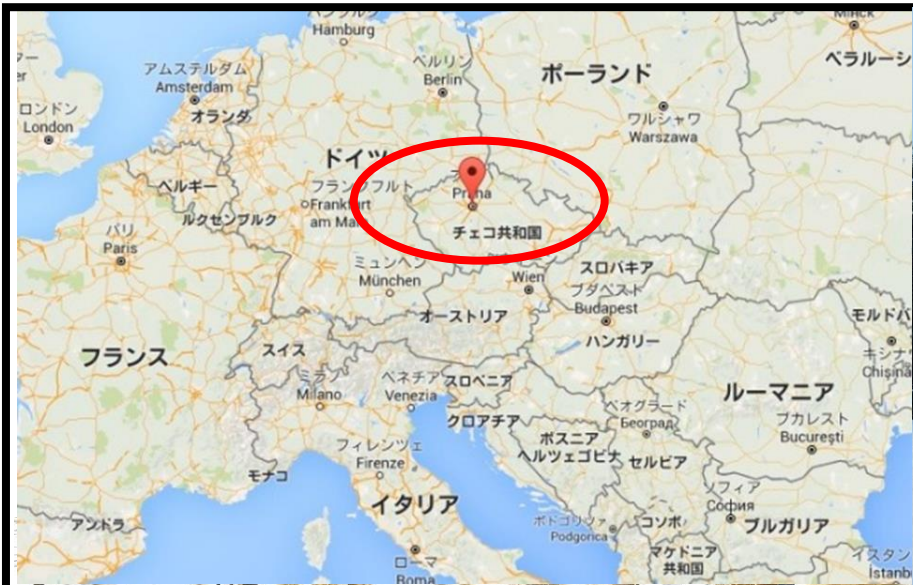
ATONIK



CONTROL

ATONIK

◆ Asahi Chemical Europe s.r.o. (チェコ) (3名)



◆ PT. OAT MITOKU AGRIO(インドネシア J V) (41名)



ATONIK

CONTROL



◆潤禾（舟山）植物科技有限公司（中国JV）（14名）



◆OATアグリフロンティア(株)

(国内 : 35名)



有機肥料の製造販売



◆ 平成30年1月25日：日本バイオスティミュラント協議会設立

会員：OATアグリオ、アリスタライフサイエンス、愛知製鋼、旭化学工業、出光興産、コスモトレードアンドサービス、ハイポネックスジャパン、雪印種苗 合計8社

EUにおけるバイオスティミュラントの概念

目的：非生物的なストレスマネジメント

アミノ酸、微生物、有機酸、植物抽出液、海藻抽出物

世界のバイオスティミュラントのマーケット

2005年約500億円→2014年約1,500億円→2021年約3,000億円

協議会の目的：日本におけるバイオスティミュラントの概念の構築
および信頼できる製品の普及

◆ エイチニュー株式会社 設立 (2018年5月)

エイチニュー株式会社

本社: 鳴門市撫養町小桑島字前浜180-1

四国徳島 ▶ 全国直送 E=hv H-New Corporation

Edible Flowers

鳴門 食用花
うずの華

きれいな花を
いつでもお届け



◆ 2018年 M&A

◆ 2018年6月 スペイン・LIDA社／CAPA社を買収

【LIDA社・CAPA社】

- (1) 所在地 スペイン国 バレンシア
- (2) 代表者 Ricardo Villuendas Segui
- (3) 従業員数 34名
- (4) 事業内容 農業資材の開発、製造及び販売
- (5) 総資産 1,496百万
- (6) 売上 1,089百万
- (7) 純利益 171百万

◆ 2018年11月 世界No1ブランド オランダ・クリザール関連20社の買収を発表

【クリザール関連20社】

- (1) 所在地 オランダ国 アムステルダム
- (2) 代表者 Peter Vriends
- (3) 従業員数 231名
- (4) 事業内容 花と植物の鮮度保持剤の研究開発、製造及び販売
- (5) 総資産 6,444百万
- (6) 売上 6,403百万
- (7) 純利益 313百万

(1 € = 128円で換算)

◆ スペイン 2社を買収（6月） （34名）



●天然の防除資材、肥料、バイオスティミュラントの開発、製造及び販売を行うLIDA社、CAPA社を買収。



Plant vaccine (抵抗性誘導剤) Plant biostress (防除資材)



★植物が本来持つ病害に対する抵抗性を応用したPhytovaccineと呼ばれる天然の防除資材の研究開発も積極的に行っている。



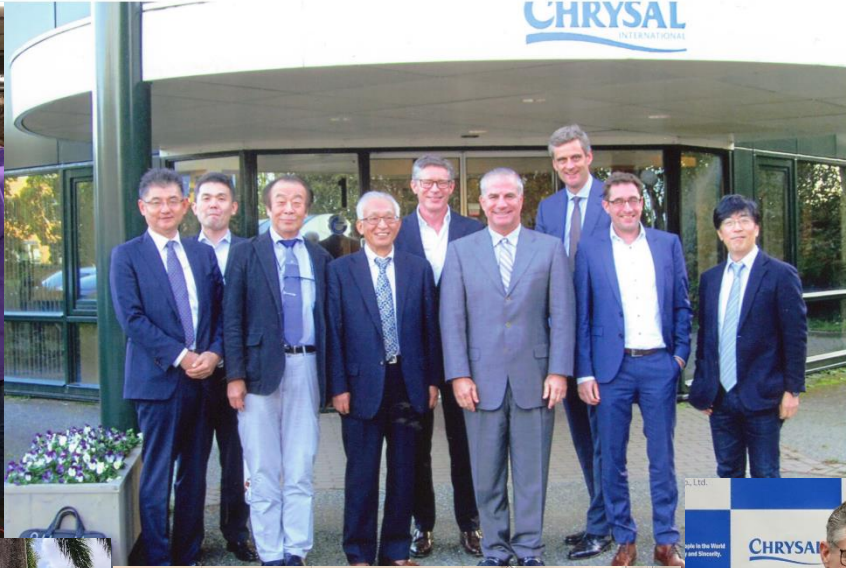
スペインのアグリ雑誌 Terraliaに掲載



LIDA Plant Research は、生産性向上および、様々なタイプの生物的ストレスや非生物的ストレスに対する栽培防除を目的とする植物の施肥および衛生に関する革新的商品の研究、開発および取引のために、1987年に設立されたバイオテクノロジーを基礎とするスペイン企業です。

バレンシア州アルムサフェスに本社および工場を持ち、スペイン国内や地中海各国だけでなく、中東およびラテン・アメリカにも広く進出しており、植物ワクチン(FYTOSAVE、STEMICOL、ACTIVANE)、バイオスティミュラント(ALGAMIX、PRIMARENC、COLORSAVE)やバイオコントロール製品(CYNAM)の利用を通じた栽培防除の分野において、科学が提供する新しい観点の世界的な企業となることを目的としています。

◆ クリザール社（海外：213名 国内：18名）



世界NO.1ブランド

● クリザール商品
花と植物の
鮮度保持剤



◆ 鮮度保持剤の機能と買収の目的

花や植物

プレハーベスト

収穫

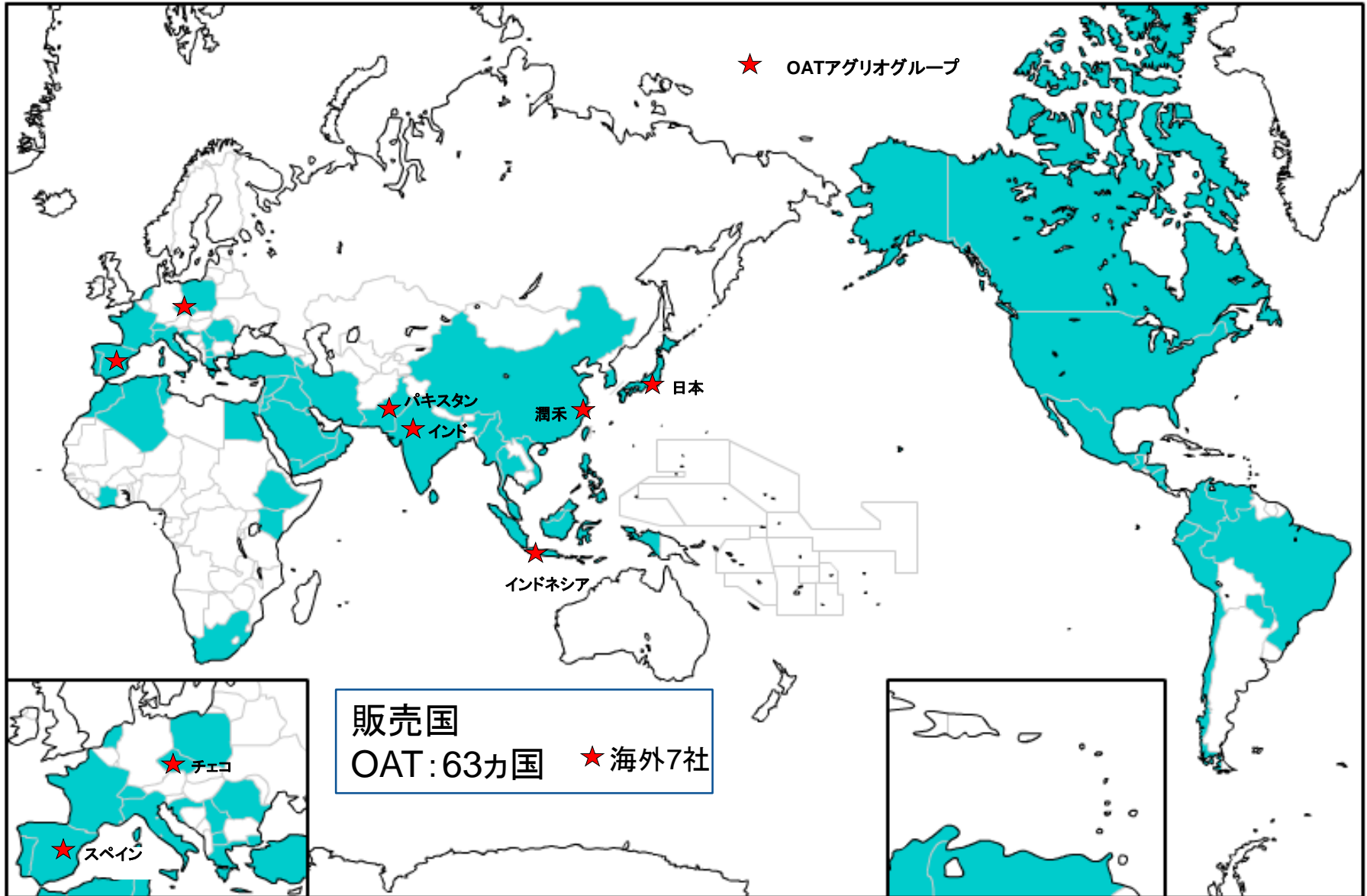
ポストハーベスト

< 鮮度保持剤の機能 >

		OATの技術の応用
鮮度保持剤の機能	① 雑菌の繁殖抑制	防除技術 バイオスティミュラント
	② 栄養	施肥灌水技術

買収の目的	① 鮮度保持剤の開発に、OATの「防除・施肥灌水・バイオスティミュラント」の3つの技術が活用できる
	② クリザールのブランド力と強固なサプライチェーンの活用
	③ 優秀な人材の確保

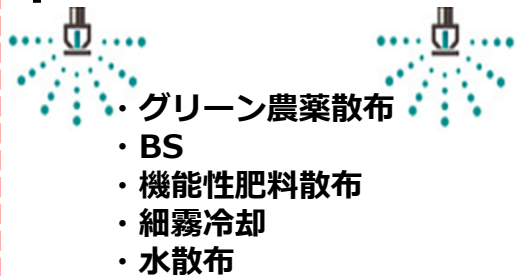
◆OATアグリオグローバルネットワーク



内弁慶プロジェクト

【AIが判断】

- ①グリーン農薬・BS・機能性肥料による事前予防散布
- ②グリーン農薬をベースに徹底した初期防除
- ③安全性の高い最新の化学農薬で局所的に対処



グリーン農薬散布
BS
機能性肥料散布



AIから
自動指示



データを自動取得しAIに記録

胞子解析センサー



画像解析用カメラ
ミテルン



日照・温度
湿度センサー

追肥・
灌水

土壌肥料成分・水分センサー

元肥

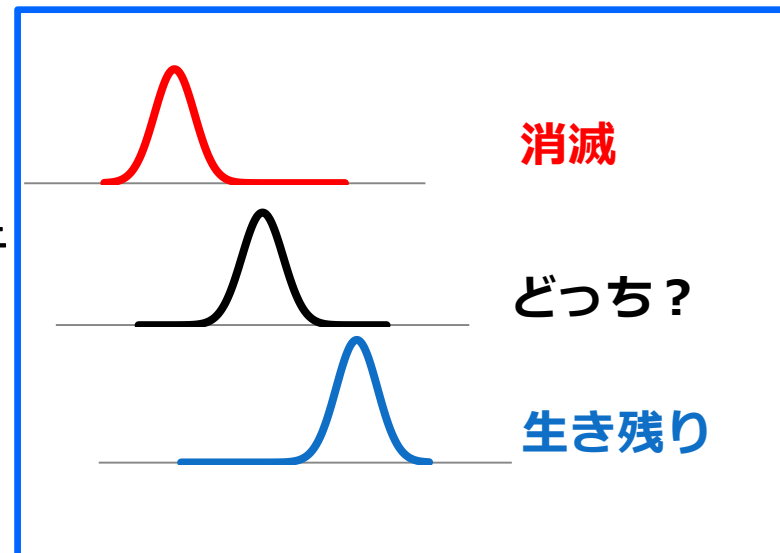
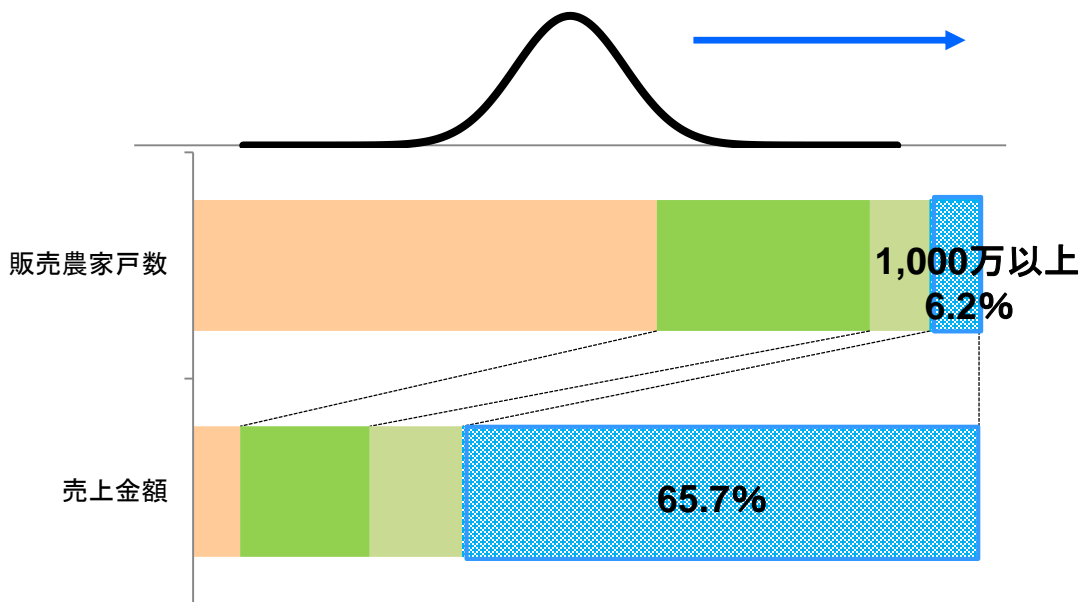


「農女」

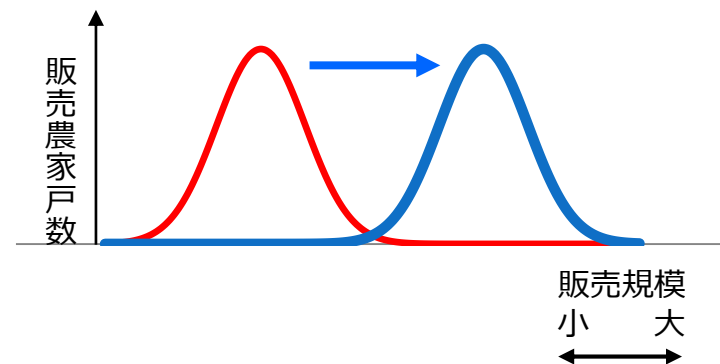
◆国内生残り戦略

1) 販売及び製品開発のためのマーケティング実施

【販売農家戸数分布】



販売金額1000万円以上の階層は戸数の比率で6.2%
全販売金額の65.7%を占める。



◆ 水稲除草剤場面での新しい取り組み

① ラジコンボートでのフロアブル散布



カリュードフロアブル等

◆ 水稲除草剤場面での新しい取り組み

② ドローンでの粒剤散布



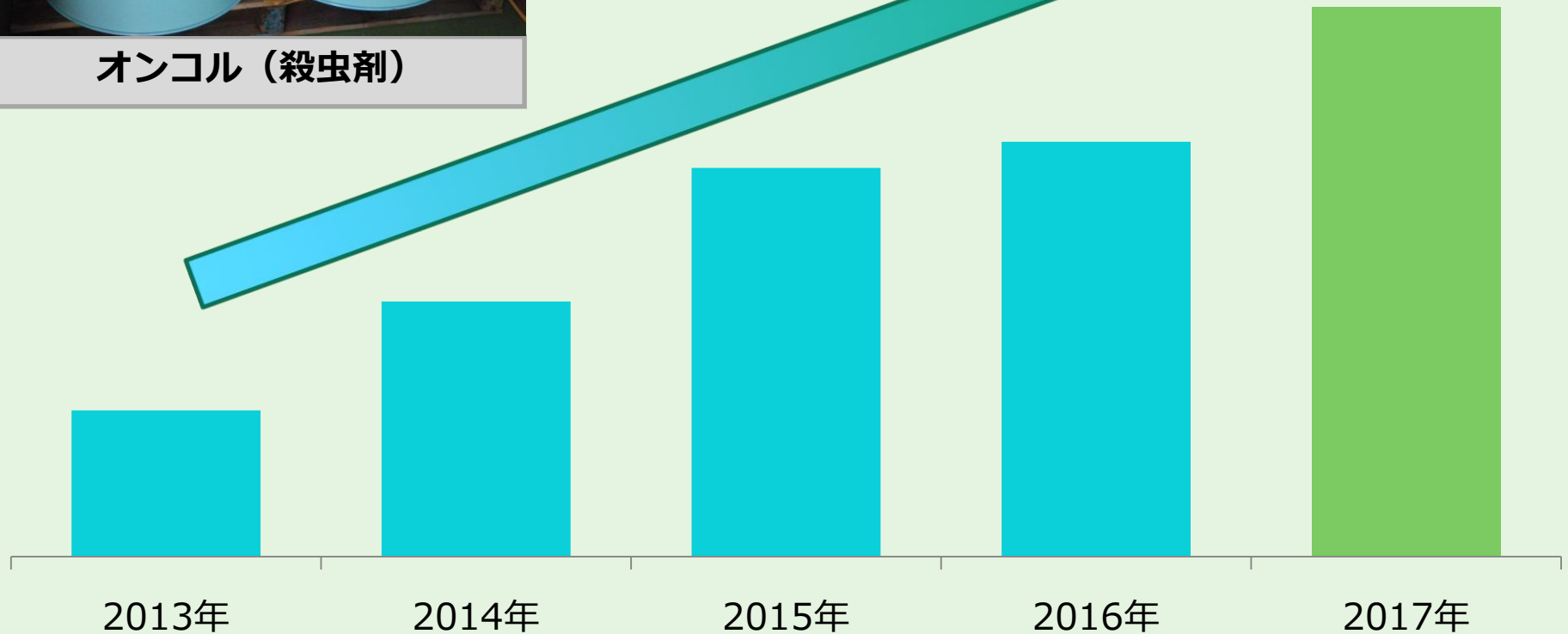
サスケ粒剤200

◆オンコルの海外販売実績推移



オンコル (殺虫剤)

登録国の拡大により売上伸長
2013年⇒2017年 (4倍)

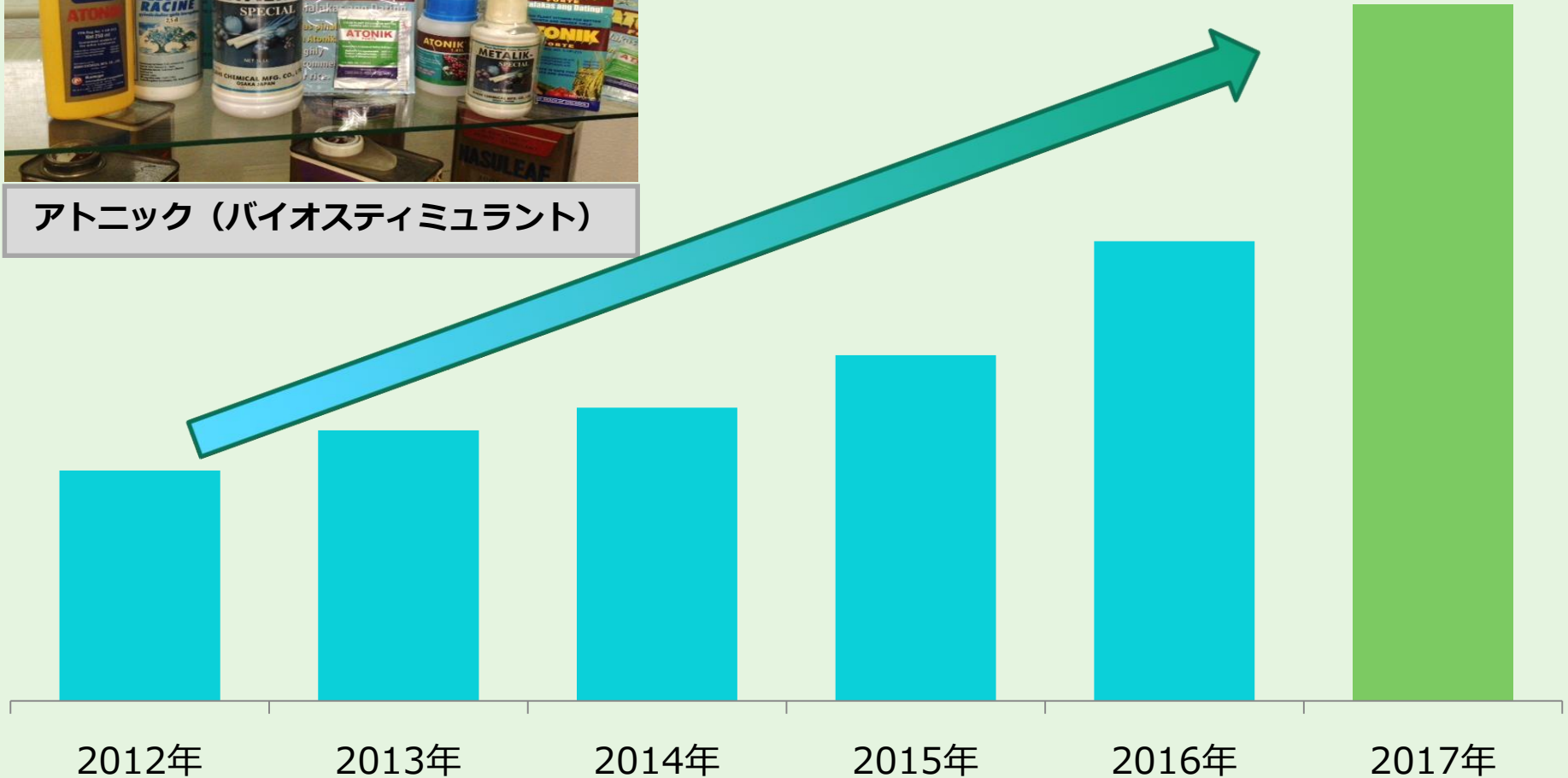


◆アトニックの海外販売実績推移



アトニック (バイオスティミュラント)

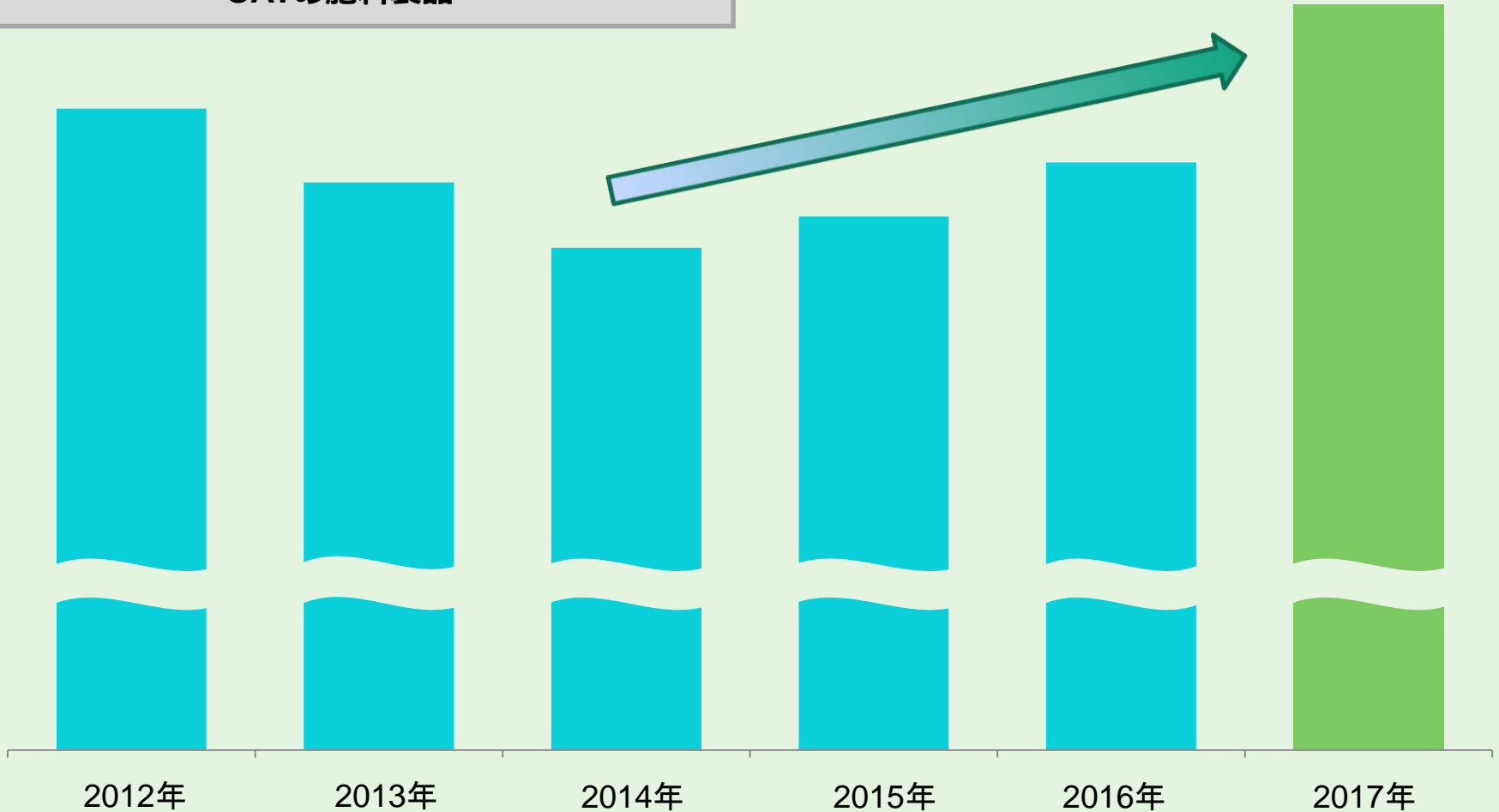
登録国の拡大により売上伸長
2012年⇒2017年 (約3倍)



◆ 国内肥料の販売実績推移



2012年比 : 106%
2014年比 : 115%

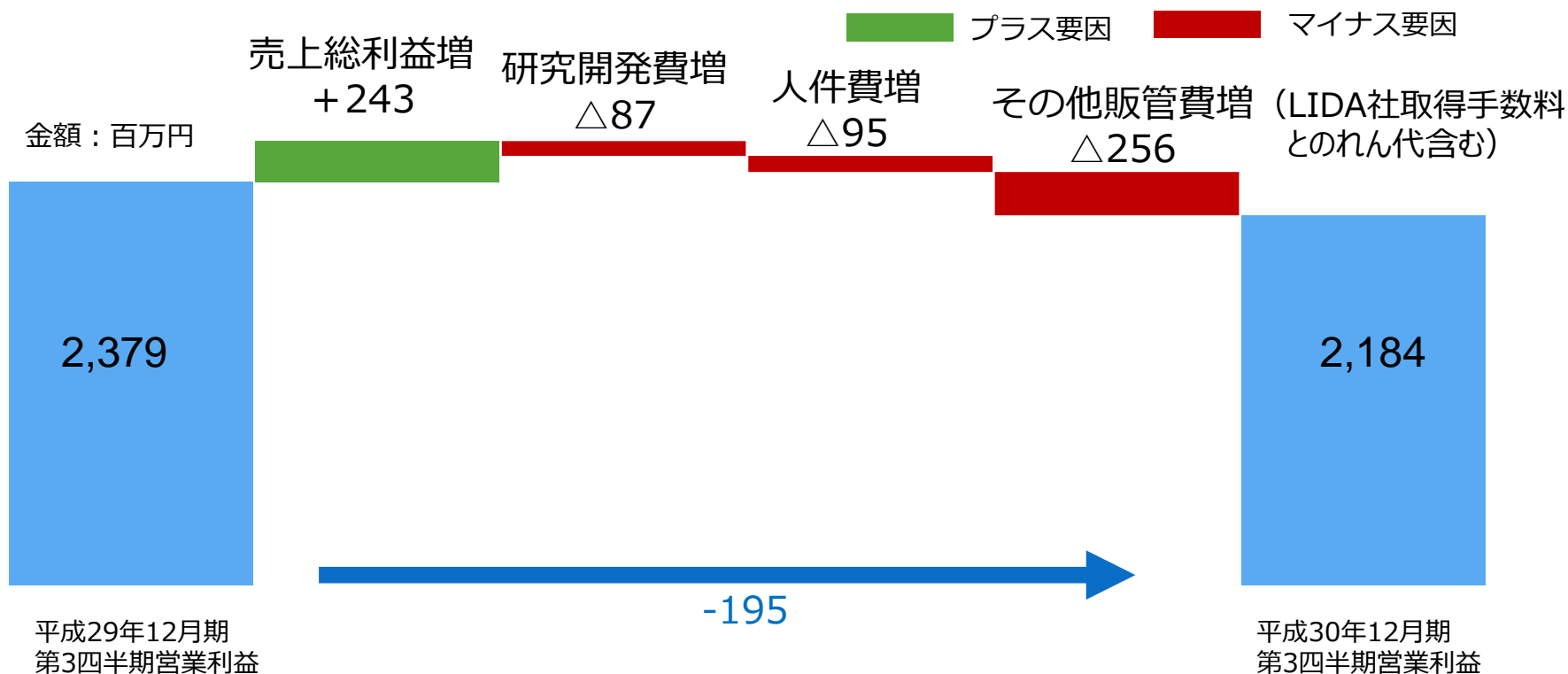


◆ 平成30年12月期第3四半期連結営業利益増減分析



平成30年12月期第3四半期（1～9月）連結業績と通期連結業績予想

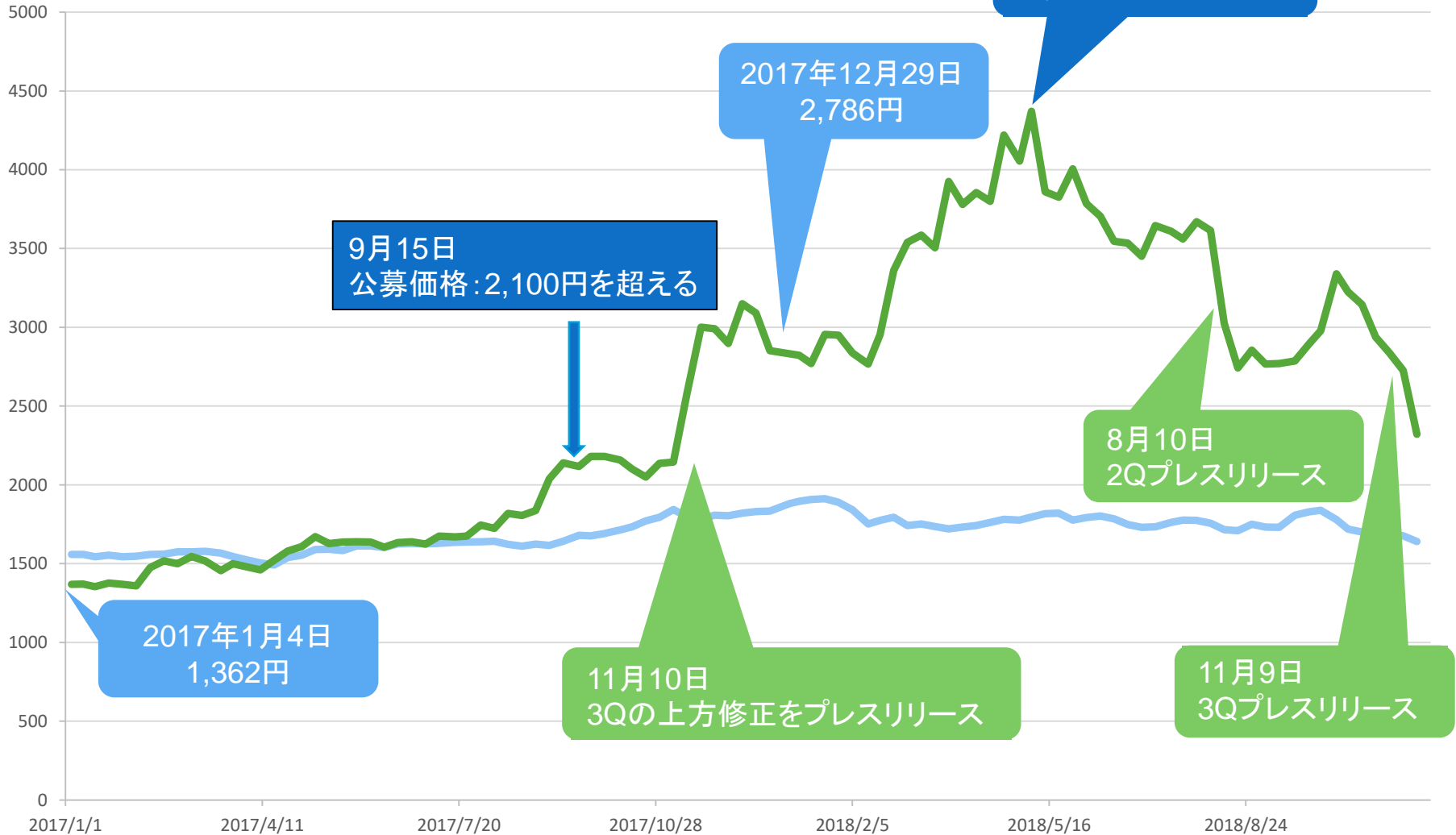
科目	平成29年12月期 第3四半期連結業績	平成30年12月期 第3四半期連結業績	前年比	平成29年12月期 通期連結業績	平成30年12月期 通期連結業績予想	前年比
売上高	11,507	12,111	105.2%	14,118	15,290	108.3%
営業利益	2,379	2,184	91.8%	1,882	1,913	101.7%
経常利益	2,368	2,211	93.4%	1,890	1,895	100.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,605	1,542	96.1%	1,298	1,311	101.0%



◆ OATアグリオ株価推移

— TOPIX
— OATアグリオ

OAT、TOPIX 週足（週間最高値）

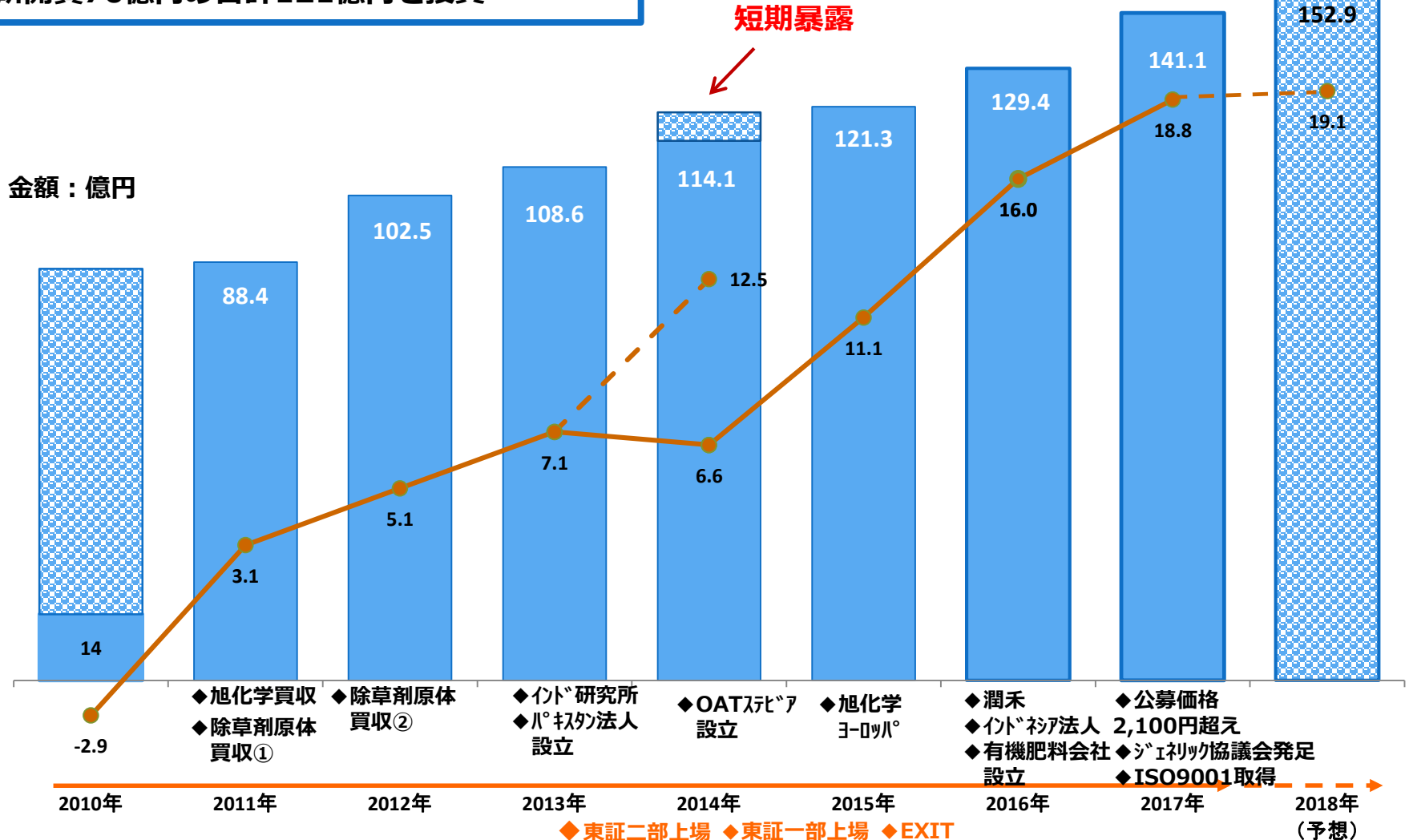


◆2010~2018年売上高・営業利益推移

◆2011-2017売上高 : Ave +8%
 ◆2011-2017 営業利益 : Ave +35%
 旭化学・バイエル・その他12項目にて51億円
 研開費70億円の合計121億円を投資

売上高 : 120億円
 営業利益 : 12.5億円
 (2014年当初予想)

■ 売上高 ● 営業利益

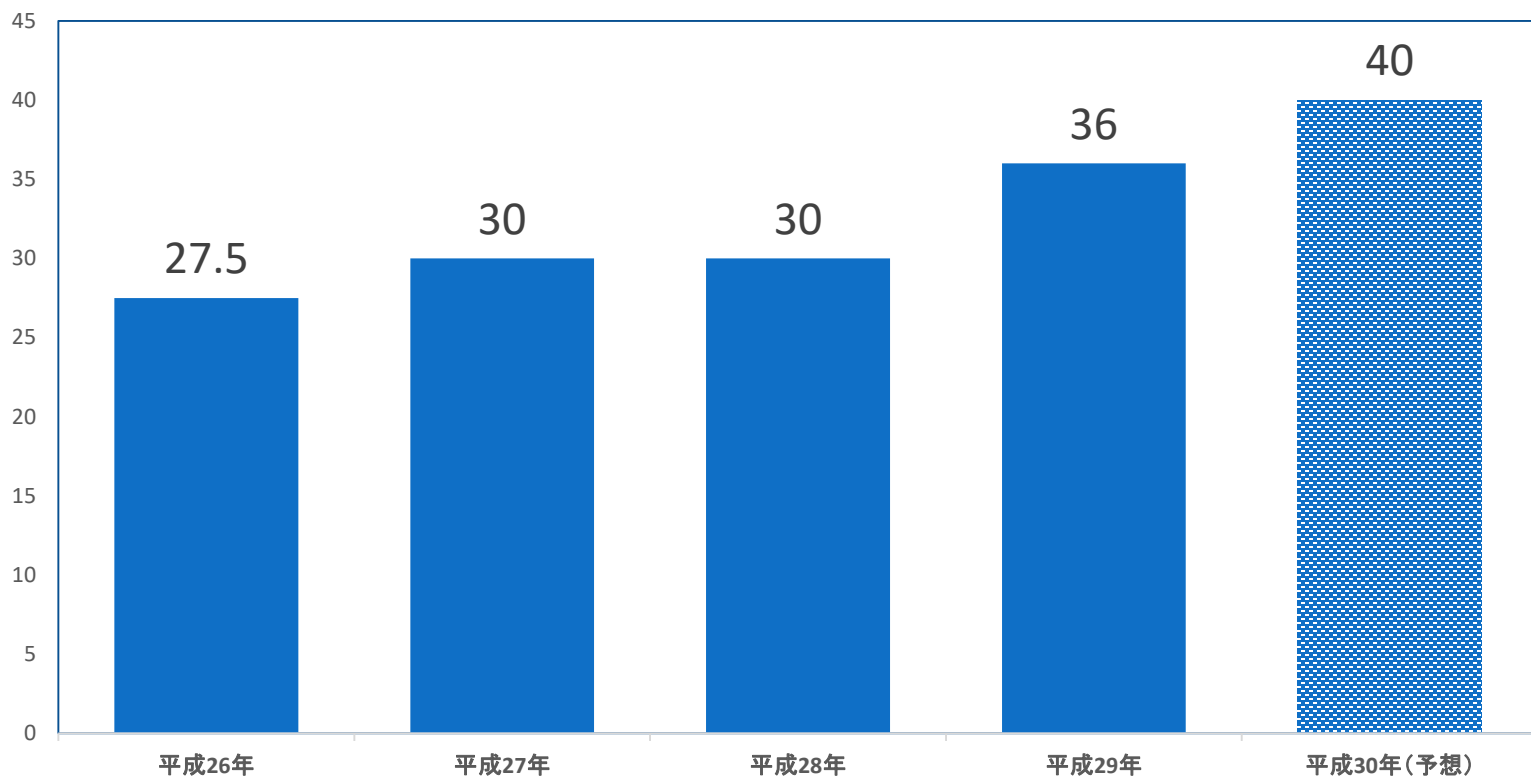


◆旭化学買収
 ◆除草剤原体買収①
 ◆除草剤原体買収②
 ◆イント研究所
 ◆パキオ法人設立
 ◆OATスピア設立
 ◆旭化学ヨーロッパ
 ◆潤禾
 ◆イント社法人
 ◆有機肥料会社設立
 ◆公募価格2,100円超え
 ◆ジェリック協議会発足
 ◆ISO9001取得

◆ 配当金の推移

※平成27年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っており、
平成26年12月期については当該株式分割後の配当金額を記載

単位：円



安定配当を継続

◆ 株主優待

【平成29年12月期実績】

ご所有株式数	100株以上
ご優待内容	当社グループ製品 1,500円相当（家庭園芸用製品）



【平成30年8月10日株主優待の拡充を発表】

保有株式数	継続保有期間	株主優待内容
100株以上	1年未満	当社グループ製品（1500円相当）
100株以上	1年以上	当社グループ製品（1500円相当）と1,000円のクオカード

注) 継続保有期間1年以上とは、基準日時点において同一株主番号で1年以上連続して株主名簿に記載または記録されていることといたします。

ご清聴ありがとうございました

◆ 本資料の取扱いについて

- 本書には、当社及び当社グループに関する見通し、将来に関する計画などが記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。